



今回は総社領主・秋元氏ゆかりの総社地区を歩く3・6きのコースです。総社市民サービスセンターの西にある国指定史跡・宝塔山古墳。7世紀末に造られたといわれる方墳で、横穴式の石室からは、当時の高い技術力をうかがい知ることができます。

北に200mほど進んで西に曲がり、総社小の北を進むと天狗岩用水にぶつかります。秋元長朝によって開削されたこの用水路は、天狗の化身の老人が巨岩の取り除き方を教えたという言い伝えから天狗岩用水と呼ばれるようになったといわれています。平成16年には用水路に沿って全

前橋ウォーカー Maebashi Walker

秋元氏ゆかりの地を訪ねる

総社地区



長680mの遊歩道を整備しました。遊歩道を北に向かうと、積み上げられたレンガが見えてきます。これは旧総社発電所の取水口跡です。明治27年に水力発電の先駆けとして、県内では初めて、全国でも5番目に建設された総社発電所は、大正3年にその役目を終え、現在は取水口跡を残すのみとなっています。

さらに北へ1km進み、利根川沿いの総社緑地で一休み。ここは地元の人たちにとってきれいに手入れされています。道を引き返し南東に1km歩くと、秋元景朝が供養されている元景寺。そして、ここから南に延びる道沿いには、豚肉料理コンテスト・T-1グランプリで3年連続決勝進出をした、そば処総社大村があります。自慢の「おそばやさんのソースカツ丼」は誰もが認める前橋の味です。



台東区芸術文化財団主催「奏楽堂日本歌曲コンクール」第19回作曲部門・中田喜直の部で、最高賞にあたる優秀賞に選ばれた。受賞作は、竹久夢二の詩「飛ぶ春」に曲を付けた独唱曲。7月14日、旧東京音楽学校奏楽堂を会場にした入賞記念コンサートで披露された。

「日本語のイントネーションに逆らわない旋律を心掛けています。今までの音楽活動で志してきたこと、方向性が認められたと喜んでいきます。尊敬する中田喜直さんの賞をいただき光栄です」

岡山県倉敷市の生まれ。高2のときから作曲を始め、東京芸術大・同大学院へ進み作曲を専門的に学ぶ。11年前から群馬大教育学部で教壇に立ち、現在は音楽教育講座の准教授。主に作曲法や指揮法



奏楽堂日本歌曲コンクール最高賞
西田 直嗣さん 43歳
富士見町時沢

作曲の方向性が認められうれしい

台東区芸術文化財団主催「奏楽堂日本歌曲コンクール」第19回作曲部門・中田喜直の部で、最高賞にあたる優秀賞に選ばれた。受賞作は、竹久夢二の詩「飛ぶ春」に曲を付けた独唱曲。7月14日、旧東京音楽学校奏楽堂を会場にした入賞記念コンサートで披露された。

「日本語のイントネーションに逆らわない旋律を心掛けています。今までの音楽活動で志してきたこと、方向性が認められたと喜んでいきます。尊敬する中田喜直さんの賞をいただき光栄です」

岡山県倉敷市の生まれ。高2のときから作曲を始め、東京芸術大・同大学院へ進み作曲を専門的に学ぶ。11年前から群馬大教育学部で教壇に立ち、現在は音楽教育講座の准教授。主に作曲法や指揮法

などを指導している。

「高校の授業で作った曲が、先生にほめられたことをきっかけに、作曲の道を選びました。ピアノに向かって、詩を口ずさみながら頭を使い曲を考え出すんです。本県ゆかりの詩人・大手拓次が好きで作曲したい詩がいっぱい。自分の内面的なものに近い気がして共感できるから、今後も作っていききたいですね」

高校の部活はバスケットボール、今はトリアスロンが趣味という。

「昨年のまえばし赤城山ヒルクライム大会も出場しました。家の庭の草むしりも忙しくて、かなり日焼けしています」と、白い歯がこぼれた。

音楽の仕事と趣味や家庭。バランスを保ちながら、大きな成果を挙げている。



コンゴ民主共和国の今を知る

前橋プラザ元気21で7月14日、国際理解講座を開催。医師のカディオンボ・アナスタシア・チレラさんが出身地であるコンゴ民主共和国について話しました。講座には57人が参加。政治や戦争、資源などの複雑な、実情について真剣な表情で聞き入っていました。



思いやりの心で地域づくりを

7月21日、粕川公民館などで「人づくり・まちづくりセミナー」を開きました。親子工作教室や福祉バザーのほか、民俗研究家・酒井正保さんの講演会も。思いやりの心を忘れずに住みよい地域づくりを進めることの大切さについて、民話を通じ考えました。



物を売っておもしろいね

7月21日、チャレンジこども商人^{あきんど}を開催。小5から中2までの20人が参加し、商売の仕組みなどを学びました。ベイシア前橋みなみモールでは、自分たちで考えた「お店」を作り商品を販売。いっぱい売れるように、元気な声と飛び切りの笑顔で接客しました。



ふるさとの歴史に触れる

7月8日、前橋文化財講座を開催しました。「きいて・みて・ふれて・あるく前橋歴史探訪」と題し、郷土の歴史を学ぶ連続講座。この日に参加した35人は、熱心に解説を聞きながら三夜沢赤城神社の境内や惣門などを見学しました。